

今月もやはり ウィンドウズ95? メール環境の 設定をしてみたが 結果はいかに……



第6回 Windows95編



寝てもさめても、Pronote mini と一緒

Pronote mini : 隊長がイキオイで先月購入してしまった、松下電器産業製のノート型パソコン。

モデムカード : カードサイズのモデム。Pronote mini にも内蔵できる。

ども。探検隊長の村野です。と、いつになく書き出しが軽いのは、ま、言ってみれば開き直りってやつですか? はい。

探検途上で中断状態の3.4KHz専用線。実はあれが1か月経っても、あのま~んま。ちょこちょこ新しいモデムのセットを用意してテストなどはやってみるんだけど、どうもご紹介できるほどの成果が上がらない。

「う~、なんだかやっぱ再申請の結果が出るまで待ちかな~」なんて悠長なことを言ったら、ついに今月も締切が来てしまった。それに今月は確定申告の月だし、領収書はぐちゃぐちゃだし……あ~、フリーなんてやってられないよ~。

というわけで、疲れ果てた上に探検隊本来の役目も果たせず、ショーモーの日々を送るワタクシ。「それにしても、次の探検はどうするかなあ?」と考えていたら、擦り寄ってきたのが例のMS信者の副編集長N氏(先月号のイラストではかなりアブない人にデフォルメされていますが、実は単なる演歌好きです)。

「どもどもども。どうすか、Windows95。

いいでしょ?」(こういう挨拶で始めるのは、やっぱふつーではない)

「う~ん、そっかな~?」と、ことWin95についてはあまり会話をしたくない私である。

「なんか最近Pronote miniをずっと持ち歩いてるって評判だし、気に入ってるんでは、ホントは?」

そういえば報告が遅くなったが、ラップトップに据え置き型モデム(先月号で紹介)っていうのはあまりにはかばかしいと思ってモデムカードを購入し、食卓の上なんかでもウェブを見たりしているのであった(われながら、なんかオタク)。

「まあねー、とりあえず軽いし、持って歩くのは楽だよ。でもさ、僕の場合はテキストエディターが使えるし、いいんだから、別にDOSでもいいんだよね。ま、ハードは軽くていいけど、Win95なんてデザインがめちゃくちゃだからな~」と私。

ちなみに、私は下から生えてくる「グロウアップメニュー(意味=Macintoshのプルダウンの逆だから)」を上へ移動し、ゴミ

箱も右下に置くというようにデスクトップをMac風に改造してある……しかし、オリジナルだと、スタートをクリックしたら最寄りのところにいきなり「Windows終了」が出てくるのもすごいデザインだよなあ。

それに加えて苦労したのが、ウィンドウやプロンプトを気に入った色に変える作業。初期設定の色って、まるでアメリカのどっかの田舎の病院みたいだし……と思ってマトモな色調にしようと思ったんだが、出てくる色の組み合わせはどれもこれもサイテー。も少しマシなデザイナーを雇えよな、MS。それともこの色の組み合わせって、自宅にハイビジョン美術館を持ってるっていう噂のピルの好み？ ま、シアトルは雨しか降らない田舎だからこんな色になってもしょーがないか、なんて考えながらさんざん苦労したあげく、どうにかマトモな設定を見つけ出したのである。

「あ、またまたあ、素直じゃないんだからあ」と副編N氏。

いかんいかん、こやつに美学的な話などしたのが間違いだった。

⑨ エクスプローラを探検する？

「いや、ちょっと聞いてくださいよあ。3月号でWin95の特集やったでしょ？ あれが好評だったんすよ（にやにや）」

「ふ〜ん、だからどしたんだよ〜、ったく」

「やっぱ、これからはWin95ですね。アップルも危ないみたいだし」

うぐぐ、くっそ〜。俺（ポルテージが上がって私から俺になる）は別にアップルのまわし者じゃないけど、そこまで言われると……。しかしな〜、まじめな話、“爆弾の出ないiMac”を作ってくれるんだったら、SUNでもどこでもいっから立て直してくれ〜というのが本音ではある。

「それに前の号で隊長も書いてたけど、プラグインの対応を考えてもWin95っすよね？」

う〜む、そう言われると立つ瀬がない。それに、専用線を引いたらRealAudioで世界の音楽をBGMにお仕事ができる……なんつって考えてたんだが、専用線は動かないし、新しいRealAudioは私の68kMacには対応してないし……あ〜、最悪。

「んもあ〜、はっきりいってどっちでもいいよ。どっちも嫌いだよ」

「はいはい、分かりました、じゃWin95ですね」（どは〜、こやつのはどうなってるんだ？）

「それよりさ〜、今月の探検隊なんだけど……」と話を転じようとする私。

「あ、それですよ。好評につきWin95探検第2弾ということで、やっぱウェブだけじゃなくてメールもやらなきゃ」

「え？（なんか意外な展開だな）そっか。ま、僕はMacでEudora-J使ってるから、あれのWin95版を入れるってことで……」と、あくまで馴染みのMac系にこだわる。

「いやいや、やっぱここは純正。インターネット・エクスプローラを入れると、デスクトップにある受信トレイでメールのやりとりができるんですよ。すごいでしょ？」（そ、そんなにすごいことかあ？）

「あ〜、あれね。邪魔だから捨てちゃおうって思ってたんだけど」

「だめですね、それ。普通の人にはあれをなんとか使おうとするんですから、隊長もいちおう使ってみてくださいよ」

と、ここまで黙っていた三柳隊員がボツリ「インターネット探検隊がインターネット・エクスプローラ（=探検家）の探検……なんかやだなあ」

「あ、それいいな。それで行きましょう。ほかにネタもないんでしょ？」と副編。

「う〜ん……」

というわけで、今回のテーマは探検隊が探検家を探検するという“なんだかな〜企画”になってしまったのである。とほほ。



ウィンドウズで気に入った色の設定をするのは大変。



爆弾の出ないiMacが欲しいよう〜。

SUN：ワークステーションの最大手企業、サン・マイクロシステム・インクのこと。今年の1月「サンがアップルを買収」というニュースが流れたが、アップル社はこれを否定。

新しいRealAudio：プログレッシブ・ネットワーク社が開発した、インターネットで音声を送るためのプログラム。昨年末にステレオ音声に対応したVer2.0が発表された。

Eudora-J：Mac用の代表的なメールソフト。本誌CD-ROMに収録。インターネット・エクスプローラ：マイクロソフト社製のWWWブラウザ。インストールすると他のネットワークの機能も追加される。本誌CD-ROMに収録。



Explorer (=探検家)を探検するっていうのも変だよな。



3月号のWindowsの特集記事を読んでおけばよかった。

Plus : ウィンドウズ95に様々な機能を追加するためのソフト「Microsoft Plus!」のこと。ウィンドウズ95と同時に発売された。

マウント : CD-ROMやハードディスクが接続されたことを、コンピュータに認識させること。

マイコンピュータ : ウィンドウズ95をインストールすると、コンピュータ全体を表わすアイコンには「マイコンピュータ」という名前がつけられる。

MSNetwork : マイクロソフトがウィンドウズ95のために開始したパソコン通信サービス。ウィンドウズ95でネットワーク機能をインストールすると、デスクトップに「マイクロソフトネットワークのセットアップ」というアイコンが(強制的に)作成される。

DNS : 「www.impress.co.jp」といったような、インターネット上のマシンの名前を管理しているサーバー。

Microsoft Exchange : ウィンドウズ95で、メールやFAXのように異なる送付方法を一元管理するためのツール。

◎ オマケでWin95をパワーアップ

しかし、前に読んだ記事だと「エクスプローラ」って「Plus」だとかいう別のパッケージを買わなきゃいけないって、「Win95はPlusがついて一人前」とかというのがMSのこざかしい作戦だったような……。

「なんかパッケージを買わないとまずいんだっけ？」

「いや、それが大丈夫なんです。あ、特集の記事、ちゃんと読んでませんか？」

「う」(確かに)

「2.0からちゃんとうちのCD-ROMの中に入ってるんですから。やっぱ、これを有効に使ってもらわないと」(おいおい、こいつ、自分の担当した記事を相当愛してるぞあ)

「じゃ、あまり気乗りしないけど、やってみるか。でもメールだけね。ネットスケープは使いたいから」

「あ、ひどいな〜、それ」と言いながら、ついにWin95方向に話が動き始めたので副編の顔はニコニコである。

まずは例によってプリンターポート経由でPronote miniに接続できるCD-ROMドライブを持ってきて接続。続いてWin95を立ち上げ、ドライブには副編ご自慢のおマケCD-ROMを入れる。

Macであれば、ここでデスクトップに自動的にディスクがマウントされるのだが、Win95では「マイコンピュータ(なんか、おマケな名前だなあ)」をクリックし、そこでドライブを選択しないとまずい。実は私も最初、ずっとマウントされるのを待って、三柳隊員から指摘されるまで気がつかなかったデス。そういうことを考えるとMacのほうがなんか自意識を持つてるような気がするんだな……ま、いいけど。

ともかく、「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMの中に入っている「Msie20j.exe」なるインストールプログラムを発見する(手順としてはWin Wwww Browser Msie Msie20j.exeの順に

ダブルクリックすることになる)。

「マイクロソフトインターネットエクスプローラV2.0日本語版をインストールします。続けますか?」と聞かれるので、もちろん「はい(Y)」のボタンを押す。

すると「インターネットエクスプローラ使用許諾契約書」というウィンドウが開くので、熟読(?)後、納得したら「同意する」ボタンを押す。

すると今度は「フォルダの参照」というウィンドウが開くので、インストールするディレクトリを選ぶ。私の場合、「デスクトップ Ms-dos_6」の下に設定することにして「OK」ボタンを押す。後は黙って見れば、インストールは完了だ。

操作自体はまったく簡単。しかし、これでMSNetworkに加えて、よけいなアイコンがデスクトップに増えてしまった。表示領域がただでさえ狭いののに、なんとかすっきりさせる方法を考えなくっちゃ、だな。

◎ 設定は「次へ」から「次へ」のオンパレード

初めての設定の場合は、「通信機能」やダイヤルアップ接続を設定したり、プロバイダーからもらったDNSアドレスやID、パスワードなどを入力する必要がある(分からない場合は本誌の後ろにある「まだつながっていない人のためのインターネット接続マニュアル」をチェックね)。

詳しい解説はこのコーナーの最後のページに譲るとして、とりあえずひととおり、設定をしてみた。

でも、なんかおかしーなーと思うのは私だけだろうか。セットアップ完了に「これで次のインフォメーションサービスとMicrosoft Exchangeが使用できます」という文句が出てくるのだが、これだと「インターネット」というのは情報サービスであって、なおかつExchangeとは独立して使えるように読み取れてしまう。実際は、イ

インターネットってのはパソコン通信会社とかMSがやっているサービスの枠には収まらないはずなんだけど。それに、Exchangeってのは「マイコンピュータ」上で作成したアプリケーションとインターネットやファックス、MSNメールの間に入る、言ってみれば「交換機」なわけで、決して独立して使えるものじゃない。となると、ここでの表現は「Microsoft Exchangeを通して下に書いてある機能が利用できます」として、下の枠内に「インターネット」があるというのが正しい日本語じゃないの？ カテゴリーミスは平気でやってるは、構造的な表現はできないは……いったい、この会社にはちゃんとしたコピーライターはいるのか？それに、この乱れた日本語表記のソフトが何万本いや何十万本と売れて、苦労しながら読む人がいるかと思うと、悲惨を通りこしてこっけいだよね、ったく。

⑨ 「受信トレイ」からメールを送信？

これで面倒な設定は終わったはず。では「受信トレイ」を使ってメールを出してみることにしよう(う～ん?)

「受信トレイ」をダブルクリックすると、メールソフト(実際はファックスなども管理できるので単なる電子メールソフトとも言い難い)が開く。ここで「作成」メニューをプルダウンし、「メッセージの作成」を選ぶ。

「宛先」に相手のアドレスを入れ、サブジェクト、メール本文を書く。

適当にテスト送信用の文章を書いてみたところで、ちょっと寄り道してメニューバーをプルダウンして、どんな機能があるのかを探してみると……う～ん、これは確かにスゴイかも知れない。

相手をアドレス帳に記録する際にどういうメールを受け取れるかなどを設定しておけば、単純なテキストのみならず、フォントや色を変えたメール送ることができるの

である。ま、相手が同じ「Exchange」の利用者であればの話だけだね……。

このへんは今後の探検に譲るとして……でも、ひょっとして続Exchange探検なんかやったら、あの副編の思うツボでは……。いかん。ともかく、ここではとりあえず簡単にメールを出してしまうことにする。

送信するには「ファイル」メニューの下にある「送信」を選択する。するとこのメールのファイルは「個人用フォルダ」の下にある「送信トレイ」の中に入ってしまふ。これを見るためには、「受信トレイ」のメニューから(あれれ?)「表示」をプルダウンし、「フォルダ」を選択すると、左側にMicrosoft Exchangeをトップとする階層風に小さなアイコンが表示されるから、ここで確認することができる。

「送信トレイ」を見ると、右側のリスト表示部分に斜体のかかった文字で宛先や件名(サブジェクト)が書いてある。

しかし、なんか変な感じなんだな～。だいたい「受信トレイ」なんて書いてあるアイコンをクリックして入ってきたのがおかしいのかな? あれはエイリアスでもないのに……などと考え始めると頭が混乱してくるので、次だ。

もし先ほどの「インターネットメールの設定」の「メッセージを転送するモード」のところで「自動」を選択していると、ここで「マイコンピュータ」は突然電話をかけてメールを送ろうとする……いや、それ以前に「受信トレイ」をダブルクリックした時点で一度は電話をかけるはず……だが先ほどの設定で「オフライン」を選んであるので、これを本当に送る場合には「ツール」のプルダウンメニューから「配信」を選ぶ。そうすると「マイコンピュータ」が勝手に電話をかけて、送信……いや配信か?……が終わったら自動的に電話を切ってくれる。

これ以外にも、アプリケーションから直接ファイルをメールしてしまうという技も



「ウィザード(=魔法使い)」って名前のわりに機能が中途はんばじゃない?



どうしてこう、ウィンドウばかり出てくるの?



こうしてだんだんウィンドウズに洗脳されていくの
だろうか。



ウィンドウズのメール機能はなかなか便利。

Eudora Pro : 前述のメールソフトEudoraの製品版。

GNN : インターネット上で最も早い時期に登場したオンラインサービス「Global Network Navigator」のこと。

URL <http://www.gnn.com/>

NCSA モザイク : 1993年に発表されたWWWブラウザ。使い勝手のよさ、表示能力の高さなどから、WWWブラウザの代名詞的存在となった。NCSAは開発元、スーパーコンピューティング・アプリケーション・センターの略称。

あって、う～む、こうなるとMicrosoft Exchange のすげえが出てくるなあ。ま、アップルはもっとガンバってるけど、なんせ会社が……と後ろ髪を引かれる思いの私。

次はメールを読んでみることにしよう。まあ、これなら「受信トレイ」をダブルクリックするという方法も納得できるしね。

この場合も「ツール」のメニューから「配信」(「受信」というのではないわけね)を選択し、ダブルクリックする。すると「インターネットメール」というダイアログボックスが出てきて、棒グラフが表示され、あとどのくらい時間がかかるか分かる……わきゃないよ、これは単なる目安。

すべてのメールの受信が終わると、自動的にモデムが切断される。

さて、さっき副編に出した手紙の返事は……と見ると、左の階層風ファイルリストの「受信ファイル」が太文字になっている。そこで「受信ファイル」をダブルクリックしてみると、入ってる入ってる。

「ずいぶん洗脳が進んだようですね、もうひと息です。頑張りましょう」

うげえ～、怖いヨ～。

☉ Win95用のユープロは
デザインがいまいち

メールを書いたり、受け取ったりという作業に劣らず大事なのがメールの整理だ。

現在のところ、「個人用フォルダ」の下には「削除済みアイテム」「受信トレイ」「送信トレイ」「送信済みアイテム」という四つのフォルダがあるが、それぞれの下には自由にフォルダを作ることができる。

試しに左側の階層風のメニューの「受信トレイ」をクリックしておいて、「ファイル」メニューの下の「フォルダの作成」をクリックする。と、ウィンドウが開いてファイル名の入力を求められるので、ここで「Internet Magazine」と入力。「OK」をクリックすると、左側の階層表示のところに「Internet Magazine」というフォルダが、

さらに右の着信メールリストの部分にも同じようにフォルダが出来る。

ここで届いたメールを示す封筒のアイコンを左の「Internet Magazine」フォルダに持って行くことで、自由にメールの整理ができるというわけだ(ただし右のリスト表示内ではメールの移動はできない)。

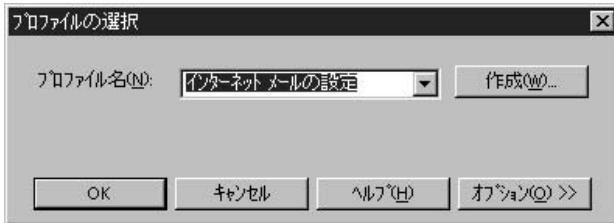
ちょっと思いついて「送信済みアイテム」の中に「テスト」というフォルダを作り、これを「ファイル」メニューの下にある「削除」で消去してみると、なんと「削除済みアイテム」の中に入ってしまった。う～ん、これって結局、Macでいうところの「ゴミ箱」なわけね。

これ以外にも、アドレス帳への登録など、結構面白そうなものもあるが、とりあえず主要な機能は分かった。慣れるまでは面倒だが、確かにいろんな使い方ができそうだし、思ったほど使い勝手は悪くない(こんな混乱した構造がスナナリくるようになったらオシマイという気はするけど)。

ところで、そうなると当初素直にインストールしようと思っていたEudora Proのほうがどうなのか、ちょっと気になってきたので早速インストールしてみた。その結果は……使い勝手はもちろんMac版のEudoraと同じで使いやすい。さらに「フィルタ」というメール振り分けの機能がすごく便利。この辺はもう少し探検してみたいものである。だが、残念ながらデザインはひどい。なんか、昔のGNN といつかNCSA モザイク といつか、そんな時代に戻ってしまったようなアイコンである。う～ん、Macのフリーウェア版は結構すっきりしてたのにな～、どうしてこうWin95版になるとデザインがひどくなるの？

Win95もデザインがよくなって、構造がもう少しすっきり理解できるようになったら使わなくはないけど、それはWin98くらいのことになるのかな～、なんて感想を残しながら今回の探検を終わることにしよう。

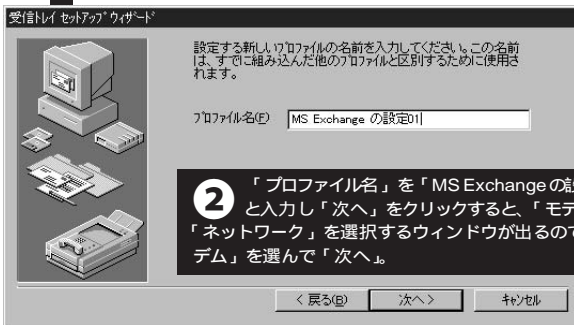
受信トレイの設定方法



デスクトップから「受信トレイ」のアイコンを開く。プロファイル名で「インターネットメールの設定」を選んで「作成」ボタンを押す。

「Microsoft Exchange で使用するインフォメーションサービスをクリックしてください」という表示のウィンドウが出たら、「次のインフォメーションサービスを利用する」から「インターネット」を選択して「次へ」。

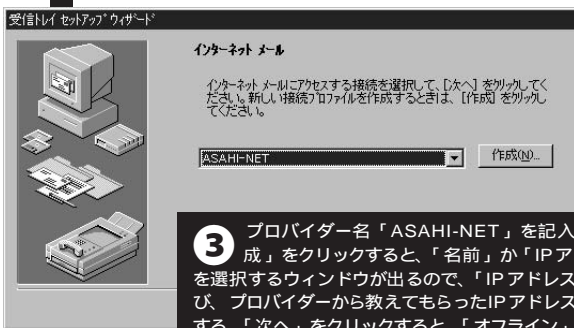
1



2 「プロファイル名」を「MS Exchange の設定01」と入力し「次へ」をクリックすると、「モデム」か「ネットワーク」を選択するウィンドウが出るので、「モデム」を選んで「次へ」。



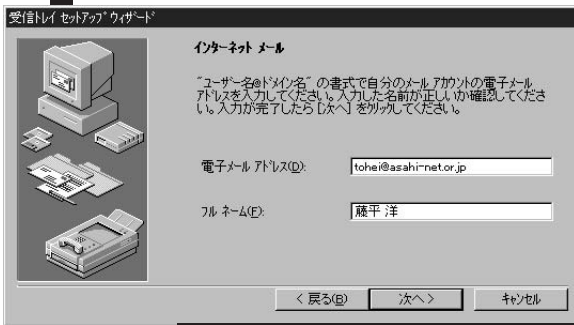
5 「メールボックス名」と「パスワード」を記入し「次へ」。



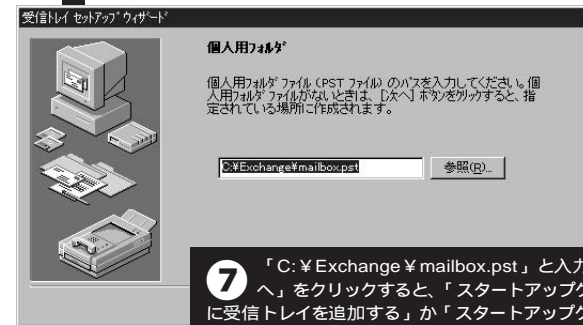
3 プロバイダー名「ASAHI-NET」を記入し「作成」をクリックすると、「名前」か「IPアドレス」を選択するウィンドウが出るので、「IPアドレス」を選び、プロバイダーから教えてもらったIPアドレスを記入する。「次へ」をクリックすると、「オフライン」か「自動」を選択するウィンドウが出るので、「オフライン」を選んで「次へ」。



6 「C: ¥ Exchange ¥ mailbox.pab」と入力し「次へ」。



4 電子メールアドレスとフルネームを記入して「次へ」。



7 「C: ¥ Exchange ¥ mailbox.pst」と入力し「次へ」をクリックすると、「スタートアップグループに受信トレイを追加する」か「スタートアップグループに受信トレイを追加しない」を選択するウィンドウが出るので、「スタートアップグループに受信トレイを追加しない」を選んで「次へ」。これでセットアップ完了。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp